

# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 96 2012. 9.23 連絡先 402-1622 >

9月議会一般質問

## 介護保険料・利用料の減免を 求めました

介護保険料・利用料の負担は高齢者にとってはたいへん大きなものとなっています。特に低所得の高齢者にとっては生活を脅かすものです。低所得層への減免を行うよう求めました。市は、国の方針通りに行い、市独自の減免はおこなわないと答えました。しかし、芦屋市や奈良市では保険料の減免、さいたま市や西東京市、柏市などでは利用料の減免を独自に行っており、「やる気があればできるのではないかと、強く実施を求めました。

次に、精神保健について質問しました。精神疾病は他の病気と同様誰にでも起こりうるものです。そのことをみんなが認識することが必要です。また、精神障害者や家族が将来に希望が持てるように、精神障害を持ちながら自立している方を新聞記事から紹介し、彼らの経験に学び、取り組みを進めるよう求めました。市は、地域のネットワーク作りや普及啓発活動の強化に取り組むと答えました。



気のせいかな？

あんまりいいことは  
ありませんが、その間、  
数年乗って廃車にし  
ました。



### みち子のひとりごと ナンバー...その後

「ありやあ」

呂合わせしてしまい、  
9「。自分で、「ミンナ  
ナク...みんな泣く」と語

わいそうではありませ  
れど...。ちよつとか  
う読めないことはないけ  
は、「174」で、そ  
んか」と言つのです。

「車シリーズ」第3弾、と行き  
たいところですが...。  
先週のこのコーナーを読んだ方  
からこんな一言をいただきました。  
「そういえば、松坂さんの車のナ  
ンバーって覚えやすいなあ」  
「なんて?」「ヒトデナシ」や

渡辺忠広議員の一般質問

## 堤防など防災強化を

渡辺市議は、住民の4分の1にあたる4056人が参加した木ノ本連合自治会での自主防災訓練の様相を紹介。市内を流れる紀ノ川の堤防が構造上、堤防にしみ込んだ水により決壊する恐れがある「浸透破堤」であることや、浜大川にかかるわずか2.5mの橋でも崩落すれば400世帯が孤立すること、また沿岸にある重油タンクの問題点などを指摘し、防災対策の強化を求めました。

危機管理局長は、浸透破堤について「どの場所で発生しても甚大な被害になる。県と連携し（国に改善を）要望していく」とし、建設局長は橋について「緊急時の観点から優先順位を考慮し整備する」と答弁しました。消防局長は貯蔵タンクなどについて「必要な検討を進める」と答えました。



くにしげ秀明です

よろしく

おねがいします



毎週金曜日、原発反対の首相官邸前での行動が全国に広がっています。私も参加した和歌山市・

後、じわじわ増えています。

政府の「エネルギー・環境会議」が2030年

に固執する政治に未来はありません。

関電前での初回の行動は7人。その代に原発ゼロが可能となることをめざすと決めたことは、国民の行動・声をあざ笑うかのようで、腹立たしい限りです。世論にそむいて危険な原発

ありませぬ。

## 日本の巨大メディアを考える

志位和夫

この社説にも、ジャーナリストの気概を感じます。「大統領は富裕税に消極的だ。それなら人権宣言を突きつけてやる」。たしかに1789年の人権宣言の第13条には、「共同の租税は、すべての市民の間で、その能力に応じて、平等に分担されなければならない」と書いてあります。この歴史的立脚点に立つて、政府に富裕税を堂々と迫っていく。

アメリカ、イギリス、フランスのメディアについて見てきました。それぞれなりに、いろいろな制約や問題もあるでしょうが、「権力のチェック機関」としての責任を果たすという点で、ジャーナリズムとしての気骨、気概が強く感じられるではありませんか。

それでは、日本ではどうでしょうか。

私は、日本の巨大メディアのなかにも、個々には真実を勇敢に伝えようとがんばっている多くのジャーナリストがいることを、知っています。また、個々の論説などのなかには、ときに事実と理性に立ったものを、見られます。それから地方新聞からは、良識の声をしばしば聞きます。